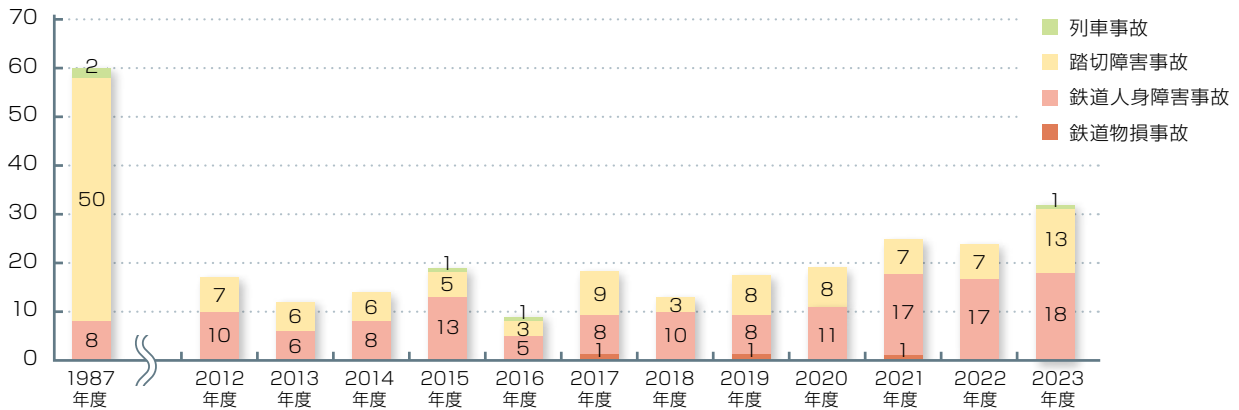


06-① 鉄道運転事故・輸送障害の発生件数

これまでの様々な取り組みにより、2023年度の鉄道運転事故発生件数は32件と会社発足当初と比べ、大きく減少しました。

【鉄道運転事故の発生状況】



※列車事故の概況

2015年度：東海道新幹線にて乗客1名が車内でガソリンをまき、自ら火をつけたことにより発生したと推定される列車火災事故

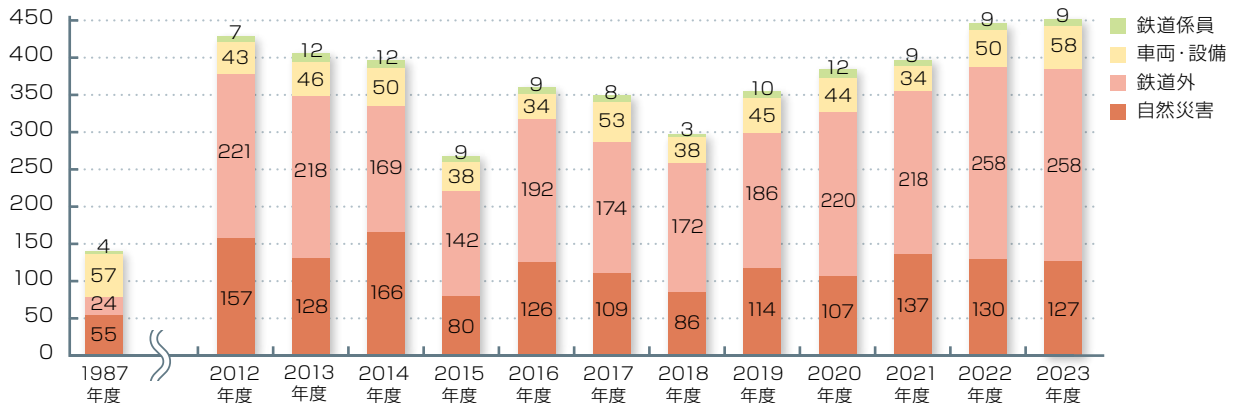
2016年度：東海道線において、列車と警報中の踏切内に入ってきた自動車と衝突したことにより発生した列車脱線事故

2023年度：飯田線において、列車と踏切内に停滞した自動車と衝突したことにより発生した列車脱線事故

注) 鉄道運転事故
 列車事故：列車の衝突、脱線、火災事故
 踏切障害事故：踏切において列車又は車両と歩行者又は自動車等とが衝突したもの
 鉄道人身障害事故：列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
 鉄道物損事故：列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

また、輸送障害の発生件数は昨年よりも増加していますが、近年の異常気象による大雨などの自然災害や、動物との衝突や踏切内で自動車を検知したために列車を踏切手前に停車させたものなどの鉄道外の原因によるものが多数を占めています。

【輸送障害の発生状況】



注) 輸送障害
 鉄道運転事故に該当しないもので、列車の運転を休止したもの
 または、旅客列車が30分以上（旅客列車以外の列車は1時間以上）遅延したもの

06-② ≫ 主な鉄道運転事故等

2023年度においては、飯田線にて走行中の列車が踏切内に停滞した自動車と衝撃し、その後脱線する列車脱線事故が1件発生しました。なお、インシデントの発生はありませんでした。

注) インシデント : 鉄道運転事故等が発生するおそれのある事態

■ 飯田線で発生した列車脱線事故について

概況：2024年2月13日、運転士は、三河一宮駅～豊川駅間を走行中、鈴与踏切に停滞する自動車を認め、直ちに非常ブレーキを扱いましたが、自動車に衝撃し、最前部車両の前側台車の1軸が進行方向左側に脱線した状態で停車しました。